

# さわらび

## 第71号

令和元年 7月1日発行

社会福祉法人 泰仁会  
 特別養護老人ホーム「やさと」  
 石岡市小倉442-1  
 TEL (0299) 43-0811(代)  
 特別養護老人ホーム「桜の郷 元気」  
 東茨城郡茨城町桜の郷 231-7  
 TEL (029) 292-3900(代)



### 「バラよりきれい、あおい御一行!」

#### 納涼祭開催のお知らせ

模擬店、花火、盆踊りなどのイベントを企画しておりますので、皆様お誘いあわせのうえご来園下さい。

日時：令和元年8月17日(土) 17:30~19:30

雨天時：令和元年8月18日(日)

8月18日が雨天の場合は中止になります

場所：特別養護老人ホーム やさと 駐車場

#### 目次

挑戦	バラまつり じまっつよ	2	5
お母さん ありがとう	「計画」	2	6
デイサービスやさとギャラリー	『地域のための施設(2)』	3	7
平成最後のお花見	介護支援専門員としての決意	4	7
地域に根付いた太々神楽	新人紹介	4	8
サラダのお共にびっくり!	合格発表	4	8
桜満開!	事故対策、身体拘束ゼロ	4	8
すばらしい景色	苦情処理委員会	5	8
たくさん収穫できるかな?	すくすく通信	5	8
お空に飛行機ビューン	編集後記	5	8

### 新人紹介



特養やさと  
足立 浩希



デイサービスやさと  
君山 奈保



国府あおい  
長谷川 舞



特養 桜の郷元気  
田綿 ひかり



デイサービス 桜の郷元気  
高橋 久重



デイサービス 桜の郷元気  
大谷 則子

### 合格発表



やさと介護福祉士  
エレン



やさと介護福祉士  
野村 広美



やさと介護福祉士  
岡崎 明裕



桜の郷元気 介護福祉士  
塚田 悠



桜の郷元気 介護支援専門員  
飯田 奈緒美

五月六日に、やさと齊藤介護員の第一子となる女の子が産まれました。名前は「芽苺ちゃん」です。苺の花言葉は、「幸福な家庭」や「貴方は私を喜ばせる」。齊藤家の宝物です。



五月十七日に、桜の郷元気の村田介護員の第二子となる男の子が生まれました。名前は「慶太くん」、体重は3472グラムです。体すくすくと優しく、元気に育ってくださいね。



### すくすく通信

#### ～事故対策委員会より～

平成30年度合計	やさと	桜の郷元気
事故報告件数	390件	171件
ヒヤリハット報告件数	2,836件	1,810件

気付き(ヒヤリハット)を増やし、事故削減・防止に取り組んで参ります。(やさと)  
 委員会では事故を未然に防ぐことで、安全で安心した生活を提供できるよう、職員一同協力して取り組んで参ります。(桜の郷元気)

#### ～身体拘束ゼロ委員会より

平成30年度合計	やさと	桜の郷元気
身体拘束対象者	1名	0名

安全のため、やむを得ない身体拘束をおこなっておりますが、介助に向けて、多職種と連携して取り組んで参ります。

#### ～苦情処理委員会より～

平成30年度合計	やさと	桜の郷元気
苦情報告件数	8件	12件

平成30年度も数多くの貴重なご意見を頂きました。自分達のサービスを再度見直す大切な機会として、速やかに改善に向け取り組み、さらに良いサービスの提供につなげて参ります。



### 編集後記

五月一日を迎えるまで新しい元号を予想していた方は多いのではないのでしょうか。新たな時代「令和」のスタートを切りましたが、「平成から令和」と時代は変わっても、私たちは地域のため、ご利用者のために変わらぬ努力して参ります。令和元年もどうぞ宜しくお願いします。

(S・K)

# 挑 戦

特別養護老人ホーム やさと

施設長 高 城

裕



施設長 高 城 裕

令和という、新しい時代となりました。誰もが希望を胸に、素晴らしい年となるよう願っています。

やさと拠点においては、特別養護老人ホーム三十床増築に向けた本格的な準備に入ります。計画した九年前とは、外部環境が随分違います。挑戦していきます。

そこで、大きな課題となっているのが人材確保です。国としては、介護分野において深刻化する人材不足に対応するため、新たな外国人材として特定技能の受け入れをはじめました。これによって四つの受け入れ枠組みができ、選択肢が増えたことになりました。さらに、どの分野でも労働力が不足する中、いかに共生していくかが重要となります。

このような状況の中、私達には、新たな介護施設を創り上げていくことが求められています。障がいがある方や外国人介護士、子どもから学

生、シニアといった幅広い年代で施設運営、サービス提供に努めていく。職内コミュニケーションやお互い認め合う風土が必要。そして、人材育成も大切になります。ご利用者が満足するサービス提供を目指し、職員が働きやすい職場であることは、働き方改革へも連動します。意識していることは、相手も周りも自分も良くなる行動をすることです。まさに三方よしの考え方です。どんな小さなことでも、相手のため、みんなのためにと思い、行動し、自分から動き出すことが必要です。

私達は、多職種によってご利用者支援にあたっています。ご利用者を中心とした時、沢山の専門職で支えています。心を一つに相手のため、みんなのための思いを大切に支援していきたいです。

令和の時代も創立の原点に戻り、経営方針である「あつてよかった」「いてよかった」が実践され、ご利用者の皆様、地域の皆様にあつてよかったと思つて頂けるように、職員が働いてよかったと思えるように一層頑張っていきます。

# お母さん ありがとう

おぐらの里グループ

介護職 富田 文子

街の花屋さんにつまみ赤なカーネーションが並ぶ季節になりました。令和元年、初めての母の日交流会が開催されました。

石岡市演芸ボランティアの皆様方の歌と舞踊で大いに盛り上がり楽しむ事が出来ました。

色鮮やかな衣装に包まれ、舞台化粧のほどこされた出演者にご利用者様達は目を輝かせて観賞され、拍手喝采が起きました。「私も若ければステージに立てたのに」との声が聞かれました。最後に赤いカーネーションがプレゼントされ幕を閉じました。時が経つのも忘れ、つかの間の幸せを感じ、有意義なひとときを過ごす事が出来ました。



# 『地域のための施設(2)』

桜の郷元気 ひたちの長岡

開設準備室 木 下

成

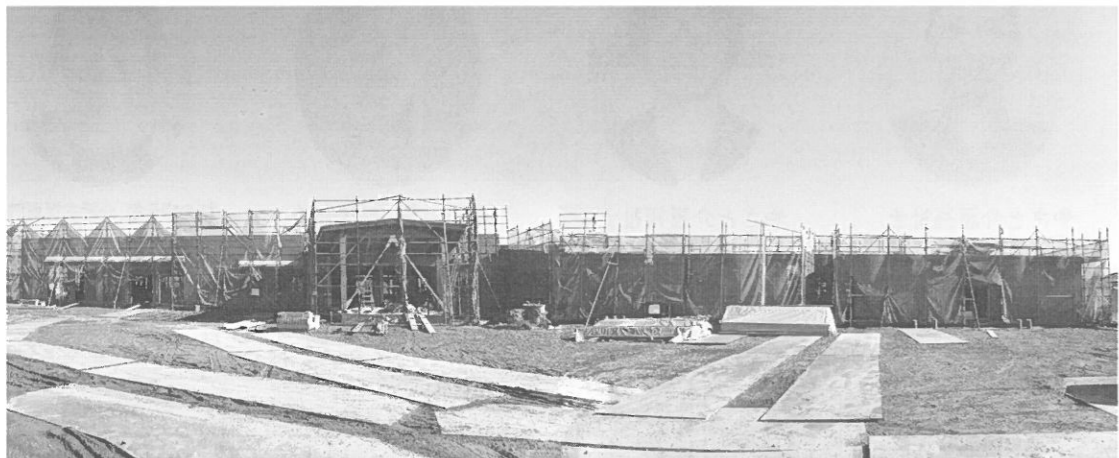
哲

前号でも、お知らせをさせて頂きました「桜の郷元気 ひたちの長岡」の開設について、地鎮祭後、建築工事は順調に進んでいます。

五月末現在では、概ね建物の形ができ、屋根や外壁工事を進めているところです。今回は、建物についてお伝えしようと思います。デイサービス最大四十名、ショートステイ二十名定員の建物は、木造平屋建て、全長63m、奥行き最大32m。大きな木造平屋建てはとても迫力があります。

ショートステイは十床をユニットとし、2ユニット。全室個室にトイレ付。また、1ユニット十床のうち五床は畳の部屋となっており、普段の暮らしに合わせた過ごし方ができます。

デイサービスは、約18m×10mのフロアがあり、お風呂は三箇所、内二つは檜風呂、一つはリフト浴となっています。より詳細については次号お伝えします。ご利用頂く方を想い、過ごしやすさを追求した建物になっていきますので、完成時には皆さんにぜひ、ご利用、ご覧頂きたいと思っています。



# 介護支援専門員としての決意

桜の郷元気

作 山 千 恵

四月からケアマネジャーとして勤務を行っています。今までは、ユニットリーダーとして入居者の暮らしが続けられるように直接支援をさせて頂きました。これからは、在宅で暮らされているご利用者が暮らし続けることができるように支援してまいります。今までは、自分自身が直接サービス提供者となり支援をさせて頂きました。これからは、在宅で

暮らしが続けられるように、ご本人とご家族の希望に寄り添いながら様々な事業所等と調整を行ってまいります。まだ日は浅いですが、地域に出て仕事をしていく中で、様々なサービスが必要とされていることを感じました。それにはご利用者の暮らしが続けられるサービス事業所も必要であると考えます。

法人では、新規施設として「ひたちの長岡」の開設をひかえております。地域とご利用者のニーズに寄り添える事業所があることで、住み慣れた地域でご利用者は暮らし続けることができます。ケアマネジャーとして新人ですが、対応させて頂くご利用者ご家族には新人であってもベテランであっても関係ありません。

「家で暮らすことができ良かった。この人に相談して良かった。」と、少しでも思つて頂けるように専門職としての役割を担っています。法人が目指す「あつてよかった。いてよかった。」と、いう考え方と同じくケアプランセンター桜の郷元気があつて、ケアマネジャーがいて良かったと思つて頂けるように様々な経験を積み、様々な知識を学び、ご利用者が自宅で暮らし続けられるように努めて参ります。

# 「計画」



桜の郷 元気 施設長 直人  
永山 直人

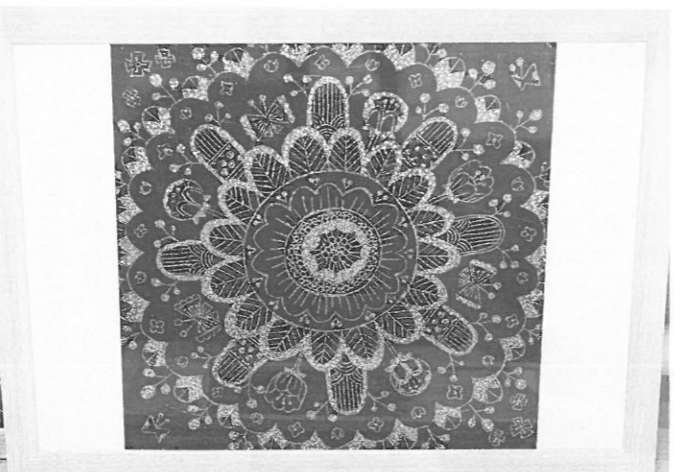
「五月晴れ」のある午後、事務室から居宅介護支援事業所・新任の作山ケアマネが塩谷管理者に相談している声が聴こえてきました。利用者ニーズをしっかりと捉えようと相談している作山ケアマネに、塩谷管理者が的確なアドバイスをしています。「聞き耳を立てて」といって、最終的に判断するのは自分自身で出来るように促しているようでした。「指導・育成」はこんな感じが一番良いだろうな。と思いながら聴いていました。作山ケアマネもこれまでは十年間ユニットリーダーとして、「施設に暮らす」入居者を支えて来てくれましたが、これからは介護支援専門員として、「在宅で暮らす」高齢者のために、その家族のために、そして地域のために活躍してくれる事を期待しています。良い上司に恵まれたと思いま

すので、その「運」も生かしてほしいですね。さて、新年度に入り、恒例としている「法人・施設の新年度事業方針」を園内研修という形で、菊地常務理事と私で全職員に説明をしたところです。基本方針は新年度も決して変わることもなく、法人も施設も地域社会に貢献するため福祉サービスを展開し、「施設があつて良かった・利用者も働く職員もここに居て良かった」と、地域・利用者・職員への「想い」を語りました。どこまで各職員の心に落ちていくのか。日々の運営の中で確認作業も必要であり時折、軌道修正したり、職員を叱咤激励するのでも施設長の役割と思っています。また、「桜の郷 元気入居者家族会総会」が先日開催されました。桜の郷 元気では各ユニットでも入居者家族会を構成しており、ここでは各ユニットに所属する職員とご家族だけで運営を行っており、ある意味、自由闊達に忌憚のない意見や考え方が出る場所です。今年度の「全体家族会総会」では、例年通りに収支予算・収支決算、事業計画・事業報告等の議案が諮られた後、令和元年においても入居者の暮らすユニットへの「ユニット費」・「敬老会記念品」・「元気ま

つり」等への助成金の決議が行われました。深く感謝をする事と同時に、この「ご厚志」にしっかりと応えるために、我々はご利用者への「自立（自律）支援」に徹したケアを実践し、施設側の「自己満足」に終わらず事なく、「ケアの効果検証」を続けなければなりません。平成三十年年度の一年間で、七十名の入居者中三十八名が「要介護認定の更新調査」を受けました。自立度（自律）が高まり、要介護状態が軽くなった方が十五名・変化がなく現状維持をされた方が十五名・要介護状態が重くなった方が八名という結果が出ています。新年度の中では「重くなってしまう方」・「更新調査をしても要介護状態5で変わらなかった方」に、特に重点的に視点を充てていく覚悟です。「重くなってしまう方」には、当然に次の「更新調査」が来るまでに、自立（自律）度を改善できるように、「要介護状態5で変わらなかった方」は、たとえ要介護状態が変わらなかったとしても、発熱や持病の悪化で体調等を崩すことが少なく、また入院される事もなく、「穏やかに暮らす事が出来たか」という視点で検証をしていきます。更に新年度

の中では「在宅復帰検討委員会」を創設する事も計画しました。入居されている七十名の皆さまで、「住み慣れた地域や家に帰りたい」という希望がある方には、その「願い」を実現するために全力をあげてサポートしていくつもりです。一概に「在宅復帰」といっても、それを成し得る事は容易ではありません。入居者ご本人の事だけでなく、各家庭の持つ「介護力」にも左右されます。入居者の要介護状態の改善だけでは、「叶えられない夢」に終わってしまいます。しかし私たちはわずかな可能性があるならば、それに懸けてみたいと思っています。桜の郷 元気の多くの専門職種力を結集して対応していきたいです。それが施設長としての「運営能力」（マネジメント力）ですね。施設を退居してからもショートステイやデイサービスといった、在宅介護サービスを併用しながらの「家での暮らし」も可能です。そういった目的もあり、「桜の郷 元気」たちの長岡（茨城町長岡地区・シヨートステイ二十名定員・デイサービス四十名定員）を秋にオープンさせるので、期待してください。

# デイサービスやさとギャラリー



デイサービスやさとへ立ちよって、ぜひ見に来て下さい!

## 平成最後のお花見

すずらんグループ  
介護職 山崎 祐介



四月七日の日曜日に、特養四グループによる平成最後のお花見を開催しました。お弁当を食べながらの満開の桜は青い空にとっても映え、ご利用者もとても喜んでおり、「ピンクに咲いていてきれいだね。」と話されています。食事の後は、桜の木の前で写真を撮り満点の笑顔。来年も同じ場所で今年以上の桜を見たいですね！



## 地域に根付いた太々神楽

デイサービスやささと  
介護職 野村 広美

四月にデイサービスの日曜営業で地元、柿岡八幡神社の「太々神楽」をお招きし、じゅかもこじゅんを披露して頂きました。ご利用者の中には観る機会が無くなってしまった方が多く、お囃子終了後は「楽しかった」「初めて観た」と様々な声が上がりました。大変喜ばれ、楽しまりました。

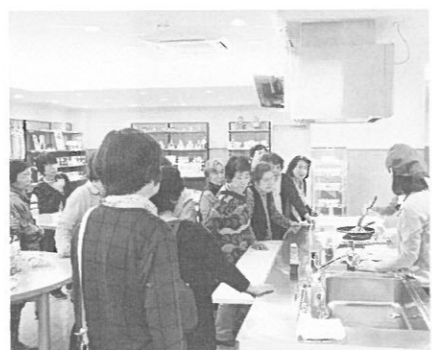


## サラダのお共にびっくり！

在宅介護支援センターやささと  
前沢 光枝



四月十六日に、第一回家族介護者等交流会でキユーピー五霞工場見学を行いました。初めての参加者も含め総勢三十一名と賑やかなバスツアーとなりました。工場では、卵を黄身と白身に分ける工程に感嘆の音が響きわたり、日々の食卓の豊かさを支える人々が汗を流している姿に感謝しました。又、皆様の交流の場として次回との声がありました。



## 桜満開！

国府あおい  
介護職 富田 博美

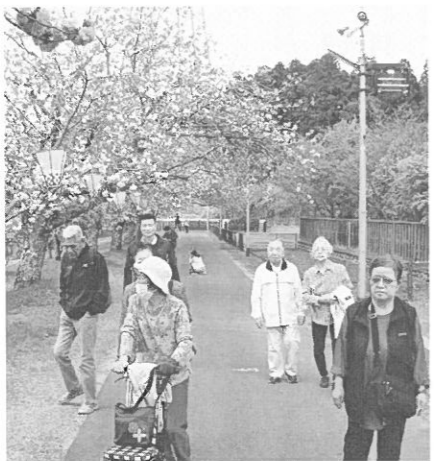
四月上旬、高浜桜つづみ公園と、石岡の南台にお花見に行ってきた。ご利用者の皆様は石岡に住んでいても、こんなに沢山の満開の桜を見たのは初めてだと大変喜ばれていました。帰りには農協直売所の大地のめぐみで買い物をされとても楽しいドライブになりました。



## すばらしい景色

ケアハウスやささと  
相談員 実川 カ

静峰公園のぼたん桜見物に行ってきました。毎年見に行っていますが今回の様に、満開の日にあたる事はありませんでした。曇空ではありましたが、公園はぼたん桜が見事に咲き誇り、すばらしい風景でした。その後、道の駅かわプラザの美味しい食事に笑みがこぼれました。



## たくさん収穫できるかな？

グループホーム  
介護職 津村 健一郎

三月中旬、さわらび農園に今年もジャガイモの種を植えました。ご利用者も耕すの手伝ってくださいましたが、久しぶりで疲れてしまったとのことで、植え付けは職員が行いました。ご利用者に肥料の撒き方を教えていただきながら植え付けました。今年の品種はメイクインです。いつも食べている男爵とは味が違うようなので、収穫が楽しみです。



## お空に飛行機ビューン

こぎつねの郷  
大野 瞳

五月二十四日に所外保育に行ってきました。茨城空港では、大きな飛行機を前に大歓声を上げる子ども達飛び立っていくと、「バイバイ！」と、元気に手を振っていて特に女の子は「乗れたかった！」と言うほど目を輝かせていました。そちらでは、ヤギやうさぎと触れ合い、滑り台で遊び、暑さに負けず楽しく過ごせました。また行こうね♪



## バラまつりはじまったよ

あじさいグループ  
介護副主任 高橋 久子

令和元年五月二十六日に、フラワーパークのバラまつり見学にご利用者、ご家族様と一緒に行ってきました。色とりどりのバラに囲まれ、「きれいなねえ」「いろいろな種類のバラがあつてとてもいい匂いだなあ」と話していました。



皆で、記念写真を撮り「また来年も来られる様に元気でいなくちゃ」と、笑いながら帰ってきました。